

オーディオ実験室収載

ライブストリーミングを楽しむ(6) —Message from SIR ANDRÁS SCHIFF—

1. 始めに

アンドラーシュ・シフのライブ配信サイトを見つけましたので、視聴してみました。

2. ライブストリーミング情報入手源と PC および使用機器環境

NHK の放送番組 7 月 12 日放映 E テレクラシック音楽館「アンドラーシュ・シフー音楽で綴る思い」からアンドラーシュ・シフのライブ情報を入手し、検索してみたところ、下記に辿り着きました。予定されていた演奏会がコロナ禍でキャンセルになり、急遽配信になったとのこと。

サイト名

Message from SIR ANDRÁS SCHIFF

ホンマこんなときやけど やっぱ(音楽)好きやねん TV organized by KAJIMOTO

サイト URL

<https://www.youtube.com/watch?v=28ClBXDR-P0&feature=youtu.be>

ライブ配信

2020 年 3 月 14 日

使用する PC はいつもの音楽用 PC です。

3. ライブストリーミングの経過





Eテレクラシック音楽館の録画と比較しながら聴いていきます。Eテレの方は、配信の翌日NHKのスタジオ収録のベートーベンのピアノソナタ告別が続きます。配信の方はスタンウェイが使用されていましたが、NHKのスタジオ収録の方では、ベーゼンドルファーでした。

広告が挿入されており、ちょっと煩雑ですが、それらをスキップしながら視聴していきます。演奏は塩川裕子夫人との対談や通訳を挟みながら進行します。

最初はバッハの平均律のプレリュードから始まり、シフの音楽観やコロナ禍の下での心がまえなどの話があって、バルトークの三つのロンドが演奏されました。

予定されていた公演のメインプログラムはブラームスだったそうですが、この配信では、ブラームスのインテルメッツォが演奏されました。最後に、ベートーベンのピアノソナタの告別が演奏されました。

演奏は当然として、シフのバッハやブラームスやベートーベンの作曲観、さらには曲の解説も興味深く聞けました。

4. まとめ

音質はYouTubeの限界がありますが、しっかりした録音システムが準備されたようで

かなり上質の音質が確保されており、ライブ感は十分出ています。演奏会開催ができない間、こういった企画で演奏家と音楽愛好家を繋ぐ手段としてあってもいいと思われます。

以上